



株主・投資家の皆様へ



株主および投資家の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第62期第2四半期累計期間（2009年4月1日から2009年9月30日まで）のビジネスレポートをお届けするにあたりまして、ひとことご挨拶申し上げます。

前期後半の世界経済の悪化により、当社製品需要は急減しましたが、当該期間に入ってからフラットパネル・ディスプレイをはじめとする当社グループの関連分野における在庫調整も一巡し、加えて景気対策効果も出始め、当社グループ製品の需要は回復傾向にあります。

また、厳しい状況においても利益が出せるような企業体質に変革すべく、当社グループは一丸となって、受注の確保ならびに生産効率の向上や固定費削減、設備投資抑制等あらゆる面でのコスト削減に鋭意取り組み、その成果が当該期間の業績に結びついたと考えております。

株主および投資家の皆様には、前期業績が落ち込みご心配をおかけしましたが、今期の通期業績につきましては、依然先行きの不透明感は拭えず、予断は許しませんが、幸い最悪の状況からは脱し、期初の想定を上回るものと見通しております。

今後は、「存在感のあるエクセレントカンパニー」を目指し、一層の事業基盤・収益構造の強化を図るとともに、新たな事業を創出するため、新規事業や環境配慮型商品の開発にこれまでに増して注力してまいり所存です。株主および投資家の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2009年11月 代表取締役社長 大岡 實



代表取締役社長
大岡 實

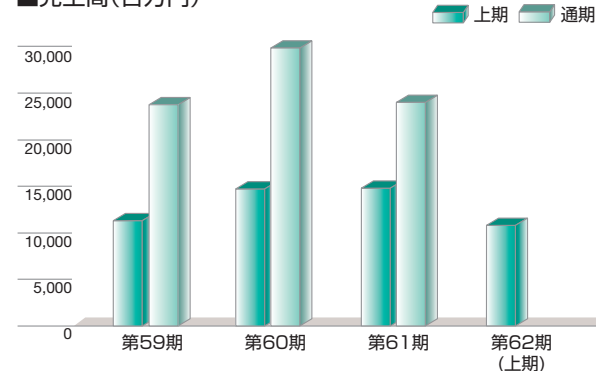
営業の概況



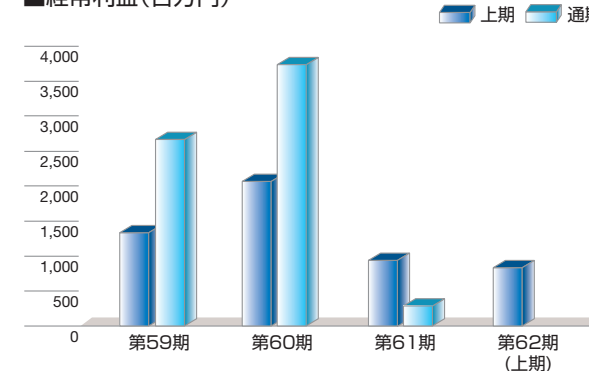
営業成績および財産の状況の推移（連結）

区 分	第59期		第60期		第61期		第62期
	上期 <small>(平成18年4月1日～平成18年9月30日)</small>	通期 <small>(平成18年4月1日～平成19年3月31日)</small>	上期 <small>(平成19年4月1日～平成19年9月30日)</small>	通期 <small>(平成19年4月1日～平成20年3月31日)</small>	上期 <small>(平成20年4月1日～平成20年9月30日)</small>	通期 <small>(平成20年4月1日～平成21年3月31日)</small>	上期 <small>(平成21年4月1日～平成21年9月30日)</small>
売上高 (百万円)	11,299	23,788	14,707	29,823	14,792	23,983	10,768
経常利益 (百万円)	1,341	2,664	2,072	3,738	938	287	833
当期(上期)純利益 (百万円)	891	1,591	1,348	2,248	573	△ 104	521
1株当たり当期(上期)純利益 (円)	107.63	192.11	162.71	271.38	69.22	△12.61	62.91
純資産 (百万円)	12,675	13,524	14,774	15,485	15,784	14,577	15,179
総資産 (百万円)	23,897	25,063	28,732	30,293	29,690	25,229	26,460

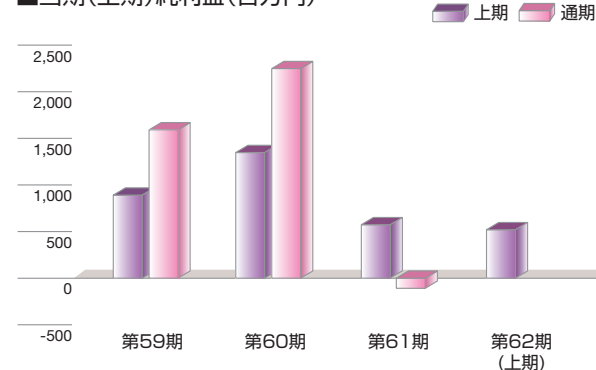
■売上高(百万円)



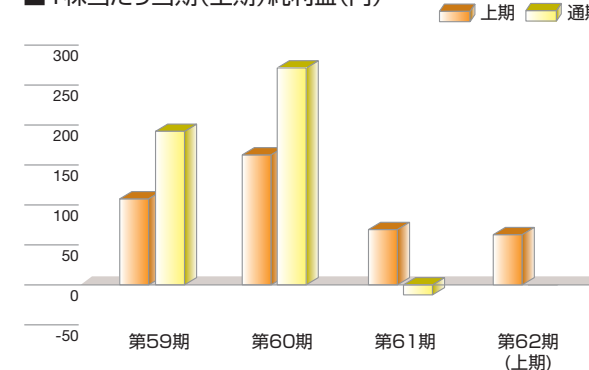
■経常利益(百万円)



■当期(上期)純利益(百万円)



■1株当たり当期(上期)純利益(円)



(注記) このレポートでは、「第2四半期累計」を「上期」と記述しています。

中国における加工製品生産・販売拠点 寧波綜研化学有限公司のご紹介

ねい は そう けん か がく ゆう げん こん す

綜研化学グループは皆様に支えられ、現在、国内3拠点(本社、狭山、浜岡)に加え、アジアを中心に海外7拠点に事業を拡大しております。

特に中国においては寧波市、蘇州市、盤錦市、常州市に4つの生産工場があります。今回は、その中でも中国浙江省沿海部の湾岸都市に位置する寧波綜研化学有限公司をご紹介します。

● 初の海外拠点、寧波綜研化学

当社が海外に事業を展開する基本方針は「マーケット・インの徹底」と「現地の自主的経営の尊重」です。寧波綜研化学有限公司を設立する際も粘着剤・加工製品の現地での生産・販売を目的として事業を進めてまいりました。

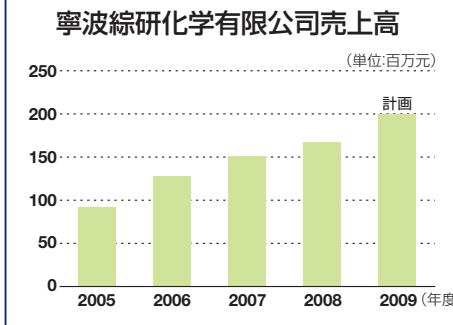
■ 沿革

- **1994年** 合併会社「寧波綜研化学有限公司」を中国浙江省寧波市に設立
- **1995年** 塗工機(コーター)の試運転を開始、加工製品の試作製造を開始
- **1996年** 粘着剤製造設備の試運転を開始、サンプル品を出荷
- **1997年** 開業
- **1999年** 売上高27百万元(約4.5億円)、黒字化達成
- **2005年** クリーンコーター設置
出資比率を70%とし連結子会社化



寧波綜研化学有限公司の全景

- **2007年** 加工製品など供給力不足を解消し効率化を図るため生産能力増強の設備投資を実施
一般製品用コーター3機、クリーンコーター2機を増設、粘着剤反応設備1基と生産能力を大幅に拡大、用地を2倍強の47,000㎡に拡張
- **2008年** 売上高1億68百万元(約22億円)
蘇州、天津に営業拠点開設
- **2009年** **新たに6号コーターラインを建設中**



● 新規クリーンコーター生産設備建設

寧波綜研化学有限公司の加工製品事業は、家電、情報機器、自動車分野等で両面テープやクリーンテープの堅調な需要に支えられ、生産数量・売上も順調に伸び、今後もより一層の事業展開を目指しております。

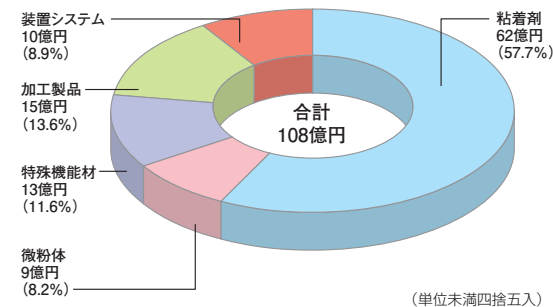
現在、クリーン加工製品の需要増加に伴い、量産設備を建設しております。6号コーターラインは新たに、加工速度の増強、品番毎条件自動設定や運転記録システムを搭載したもので、寧波綜研化学有限公司の将来を担う生産設備として2010年6月を稼働予定として建設を進めております。



新設設備の建設現場

● 上期売上高および通期見通し

■ 第62期上期 商品ユニット別の売上高



■ 第62期通期見通し

景気対策の効果などにより、フラットパネル・ディスプレイをはじめとする当社関連各分野での在庫調整が一巡し、製品需要は回復傾向にあります。このような状況を踏まえ、通期業績予想を見直した結果、当社主力の粘着剤の需要が予想を上回り、併せて生産効率向上等コストダウンへの継続的な取組みにより、売上高は234億円、経常利益は16億円、当期純利益は9億円に上方修正いたしました。

財務諸表(連結)

■連結貸借対照表(要旨) (単位:千円)

科目	第62期上期	第61期
	(平成21年9月30日現在)	(平成21年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	12,471,626	10,819,491
固定資産	13,988,797	14,409,793
有形固定資産	11,871,423	12,410,932
無形固定資産	246,521	279,941
投資その他の資産	1,870,852	1,718,918
資産合計	26,460,424	25,229,285
(負債の部)		
流動負債	8,012,757	6,828,029
固定負債	3,268,446	3,823,819
負債合計	11,281,203	10,651,849
(純資産の部)		
株主資本	14,552,436	14,321,325
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,816	3,402,816
利益剰余金	7,798,945	7,567,835
自己株式	△ 10,889	△ 10,889
評価・換算差額等	89,148	△ 135,117
少数株主持分	537,636	391,228
純資産合計	15,179,220	14,577,436
負債純資産合計	26,460,424	25,229,285

■連結損益計算書(要旨) (単位:千円)

科目	第62期上期	第61期上期
	(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
売上高	10,768,611	14,792,658
営業利益	833,842	919,366
経常利益	833,796	938,947
上期純利益	521,316	573,577

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:千円)

科目	第62期上期	第61期上期
	(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,156,592	922,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 565,363	△ 2,213,923
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 917,393	1,605,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,354	△ 3,376
現金及び現金同等物の増減額	704,189	310,266
現金及び現金同等物の期首残高	1,928,358	2,071,627
現金及び現金同等物の上期末残高	2,632,548	2,381,894



会社の概況

■会社概要

社名 綜研化学株式会社
資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズ部門では、粘着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システム部門では、装置・システムの販売、生産システムのエンジニアリング、プラントのメンテナンス、熱媒体油の輸入販売を行っております。

■役員(平成21年10月1日現在)

代表取締役会長	中島 幹
代表取締役社長	大岡 實
取締役副社長(狭山事業所長)	川瀬 進
取締役副社長(事業管理本部長)	日向 芳明
取締役(研究開発センター長)	池田 裕治
取締役(社長室長)	阿部 英紀
取締役(生産本部長)	御手洗 寿雄
取締役	逢坂 紀行
常勤監査役	安藤 隆夫
監査役	北尾 哲郎
監査役	臼井 良雄

注) 監査役北尾哲郎氏ならびに臼井良雄氏は社外監査役であります。

■事業所

事業所名	所在地
本社	東京都豊島区高田3-29-5
狭山事業所	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
浜岡事業所	静岡県御前崎市池新田8665-1

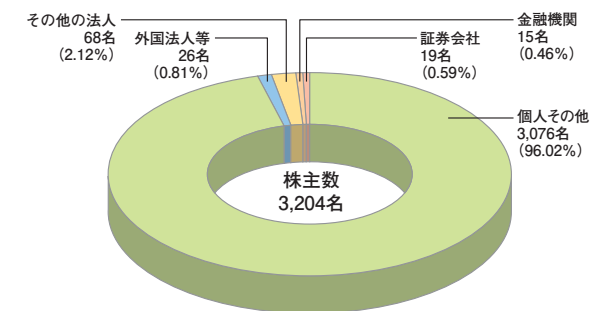
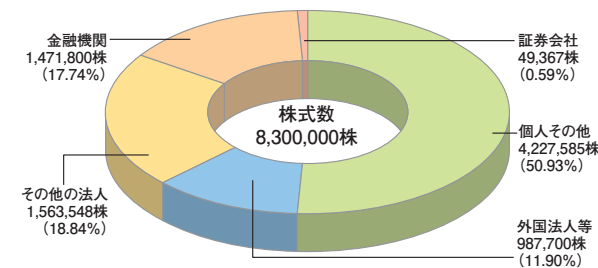
■主要な子会社等

- 綜研テクニクス株式会社 ●浜岡綜研株式会社
- 狭山綜研株式会社 ●Soken Chemical Singapore Pte. Ltd.
- 綜研化学(蘇州)有限公司 ●寧波綜研化学有限公司
- Soken Chemical Asia Co., Ltd.

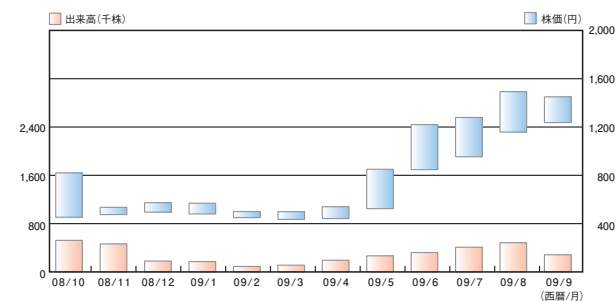


株式の状況

- 発行可能株式総数 33,200,000株
- 発行済株式の総数 8,300,000株
- 株主数 3,204名
- 所有者別株式分布状況



■株価(高値・安値)および株式出来高の推移



株主メモ



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金支払基準日	3月31日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-176-417
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 URL: http://www.soken-ce.co.jp
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



本レポートの表紙絵および各ページに配している絵は、障害者ライブラリー「アートビリティ」に登録されている、アーティスト蔵貫 信さんの作品(作品名「かくれんぼう並木」)を使用させていただきました。

◎蔵貫 信(くらぬき しん)

1969年生まれ。山口県萩市在住。

自宅前の「アトリエ蔵」で作品を制作し、個展や商店街ライブなどを通じて、地域の活性化に積極的に関わる活動を続けています。

また、ユーモラスで愛らしいイラストがたくさんユーザーに支持され、アートビリティの人気作家として、さまざまなメディアで活躍しています。

第20回アートビリティ大賞受賞(2008年)。

◎アートビリティ

1986年に社会福祉法人東京コロニーが、障害者アーティストが自立し、自活することを支援するために設立したアートギャラリーで、作品の使用料がアーティストに還元されています。

 **綜研化学株式会社**
Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL : 03-3983-3171 FAX : 03-3988-9216
URL : <http://www.soken-ce.co.jp>